

(5) 質問者議員 浦 山 宣 之

件名 1 誰もが健幸で安心して暮らせるまちへ。

要旨 1 安心して暮らすための移動手段の確保を。

- (1) 公共交通網リ・デザインにより生活に影響が出るのであれば、様々な移動手段の代替案を考えるべきではないか。例えば本市から近畿大学病院までの移動手段についてはどうか。
- (2) これまでの議会で取り上げてきた南部開発団地（青葉台～南ヶ丘～大矢船～南花台）から国道 3 7 1 号バイパスを経由した、くろまろの郷～上原商業地～市役所方面の公共交通の移動手段について、前に進んでいるのか。

要旨 2 前回の議会でも取り上げたが、50 歳、55 歳、60 歳の市民にも带状疱疹ワクチン接種助成制度の拡充をすべきではないか。

要旨 3 高齢者の肺炎は、日本における主要な死亡原因の一つで、罹患するとそれまでの日常生活自立度は一気に下がる傾向にあるため、注意が必要である。その中で R S ウイルス感染症は乳幼児だけでなく、高齢者においても重症肺炎の原因ウイルスとして近年注目されており、2023 年にそのワクチンが承認され、重症化予防に高い効果が期待されている。同ワクチンの接種助成をしている自治体も増えているが、本市でも検討してはどうか。

要旨 4 子宮頸がん検査を他市で受けている市民がいる。検査クーポンを他市でも使用できるようにすべきではないか。

件名 2 子どもたちの健やかな成長を応援するために。

要旨 1 学校に行きづらくなった児童・生徒への学習支援や体験学習に取り組むフリースクール等の希望者が増えてきている。一方で授業料や利用料の負担も大きい。市で助成を行うべきではないか。

要旨 2 夏休み中の放課後児童会の給食の要望が寄せられている。早期実現を。

件名 3 農業の多面的機能と担い手の確保のために。

要旨 1 農業は食料生産、国土の保全（一時的に豪雨等の水を貯留したり、土砂災害の抑止等）、生態系の維持、並びに市民への自然体験・教育の機会になるなど、私たちの暮らしの安心安全に想像以上に大きく関わっている。しかし、高齢化や災害級の酷暑などが原因で、意欲があっても耕作を続けられず、農業を辞めてしまう人が増えている。このままでは、耕作放棄された田畑が増えることが懸念される。市はこの現状と将来を見据え、どのような対策を講じているのか。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者